

たかあき かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女・次男

経歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職

平成23年1月～ 自民党衆議院静岡県第六選挙区支部 支部長

平成24年12月～ 衆議院議員（現在4期目）

- ・第四次安倍改造内閣にて環境大臣政務官
- ・第二次岸田改造内閣にて農林水産副大臣（現在）

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党としてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。

お知らせ



ポスターご掲示頂ける方大募集！
事務所（055-922-5526）までご連絡ください

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所：自由民主党本部
100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：東京 03(3581)6211（代）
振替口座：東京 00180-1-19518 定価1部 105円



通信

—第51号—

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
〒410-0062 沼津市宮前町1-3-3
電話：055(922)5526 FAX：055(922)5527
ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>
公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津市・熱海市・伊東市・下田市・伊豆市・伊豆の国市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町・清水町・長泉町】

ボランティア大募集（第6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポスター貼りなど、楽しい仲間と共に！

衆議院議員（静岡県第6選挙区支部支部長）

たかあき
かつまた孝明氏

農林水産副大臣として更なる活躍！

～ふるさと発展のため～



第二次岸田改造内閣にて県内初の農林水産副大臣に就任

農林水産業の発展のために！

令和 4 年 8 月の第二次岸田改造内閣にて農林水産副大臣を拝命しました。農林水産業の盛んな静岡県において県内選出国會議員で初めての農林水産副大臣となりました。

これもひとえに今まで長きにわたりご支援いただいていた多くの皆さまのおかげであり、しっかりと職責を果たしてまいります。

現在、農林水産業を取り巻く環境は大変に厳しい状況にあります。

農業においては、担い手の高齢化、肥料・飼料の高騰など厳しい環境の中、食糧安全保障の強化を図るべく食料自給率を高め、みどりの食料システム戦略のもと持続可能な農業を実現していかなければなりません。

私の地元静岡 6 区でも、柑橘、わさび、いちご、椎茸、お茶、花卉など我が国の誇るべき農産品が作られています。全国の生産者の皆さんが自信と誇りを持って国内外に発信できる仕組みを作っていきたいと考えています。

「農は国の基」であり、農山村の原風景を守っていくことが必要であります。同時に、生産性の向上も図っていく必要があります。引き続き、農業農村整備事業にも尽力してまいります。

森林・林業政策の推進

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎えています。気候変動による集中豪雨によって土砂災害等が多発しています。

間伐等による森林管理は非常に重要であり、荒れ果てた森林によって保水力が弱まり災害に繋がります。

昨今のウッドショックやウクライナ情勢を踏まえ、今後さらなる国産材への転換と国産材の安定的、持続的な供給体制の構築に取り組んでまいります。

公共建築物に国産材の使用促進をするなど、積極的に国産材需要を作り出していきます。

水産業の復活のために！

気候変動により、海洋環境の変化が激しい中で、水産資源の適切な管理とそれを通じた成長産業化の実現を図っていかなければなりません。

特に海水温の上昇により、遠洋漁業はもとより沿岸漁業、養殖業などは大きな影響を受けています。

従来漁法に加え、デジタル技術をフル活用し、生産性を上げ、成長産業にしていきたいと考えています。

六次産業化を進め、さかなの消費量を増やし、「さかなの国」日本の復活を成し遂げてまいります。

観光と農林水産業！

私たち地元の基幹産業である観光も、農林水産業がなくては成り立ちません。美味しい食材と素晴らしい環境資源がなければ魅力ある観光地にはなりません。これからも、「日本の再生はふるさと再生から」を原点に、汗をかいてまいります！